

暖房器具・調理器具の使用時には換気に心がけ、室内での喫煙にも注意を

解説



■ ストープやファンヒーターの使用時には十分な換気を

■ 調理時には換気扇の使用を

暖房器具の種類によっては、その使用によりホルムアルデヒドや二酸化窒素などの化学物質が発生します。定期的な換気を心がけましょう。

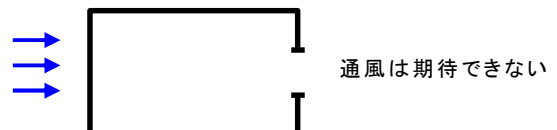
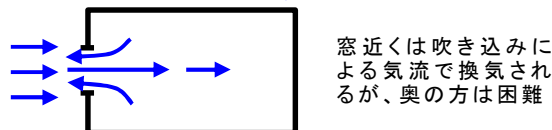
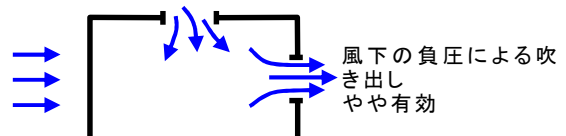
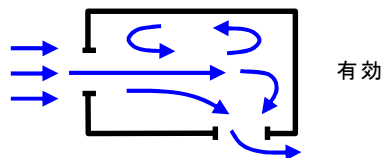
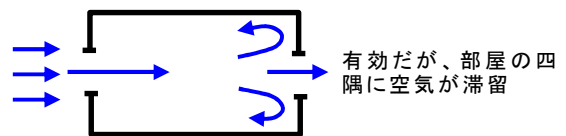
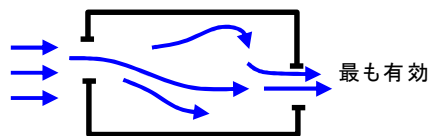
また、ガスレンジを使用した場合にも、ホルムアルデヒドなどの化学物質が発生します。必ず換気扇を使用するようにしましょう。

■ 室内での喫煙は控える

喫煙によりアセトアルデヒドなどの化学物質が発生することが知られています。室内での喫煙は控えましょう。

■ 換気時や換気扇の使用時には、窓や換気口から十分な外気の取入れを

室内に空気の流れをつくり、外気を十分に取り入れられるように工夫します。空気の流れをスムーズにするには、空気の出入り口ができるだけ対角線となるよう、2か所以上作るようにしましょう。



換気量を増やすための基本的な考え方

● 窓開けに際しては開口部(主に窓)を2か所以上つくる

空気の通り道を作ることが重要です。風上と風下の両方を開放するのがもっとも有効で、難しい場合は風上と側面を開放します。風下のみの開放ではあまり効果は期待できません。また、風上のみの開放では部屋全体の換気効果は低くなります。

空気の流入が明らかに感じられるなど、風が強いときには5分程度の窓開けでもほとんど空気は入れ換わります。また、外出などで部屋が長時間閉め切られていた時には、窓を全開してまず空気を十分入れ換えるべきです。

● 換気用小窓、ガラリ、換気口を利用する

昨今の住宅ではサッシやドアに換気用小窓やガラリが、壁には換気口が備え付けられていることが多いようです。これらは自然換気を利用しようとするものですから、小窓やガラリはなるべく開放しておくようにし、換気口を家具などで塞がないように気を付けましょう。これらの換気口は上部に設けられていることが多く、風力だけでなく温度差による自然換気にも有効です。

● 補助的に局所換気を利用する

大規模な計画換気システムが備わっていなくても、キッチンのレンジフード、浴室やトイレの換気扇などの局所換気はほとんどの住宅に備わっています。

無風で自然換気があまり期待できそうにない時や、集合住宅で窓が一面にしかない場合などは、これらを補助的に活用するとよいでしょう。この際に注意することは、これらの換気扇と給気口を離すことです。例えば、居間の窓が開いていて、キッチンの換気扇が作動しているときには、居間とキッチン間に気流が生じ、室内が換気されることが期待できますが、換気扇の近くに給気口があると空気はその範囲だけで循環し、室内の換気には有効となりません。こんな場合には換気扇近くの給気口を閉鎖しておく必要があります。

知って防ごう
シックハウス

